

(様式②-1) 令和2年度事業計画書(局・統括本部)

[環境創造局 みどりアップ推進課]

事業名		
1	1	3
まちなかでの緑の創出・育成事業		

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
新規・拡充	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
9	3

令和元年度 事業評価書 番号	
令和元年度 事業評価書 番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	基金繰入金	市債	一般財源
2年度	738,000	0		658,000	80,000	0
補助事業	0					
単独事業	738,000			658,000	80,000	0
元年度	980,900	120,000	0	620,900	240,000	0
増△減	△ 242,900	△ 120,000	0	37,100	△ 160,000	0

歳出		28年度	29年度	30年度
予 算	事業費	-	-	717,510
決 算	市債+一般財源	-	-	205,000
決 算	事業費	-	-	830,787
算	市債+一般財源	-	-	205,000

歳出		3年度	4年度
予 算	事業費	738,000	738,000
算	市債+一般財源		

方針に関する決裁 種別()
有()・無()

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

多くの市民の目にふれる場所での緑化や目にする機会が多い街路樹を良好に育成するための取組、地域で古くから親しまれている名木古木の保存など、市民が実感でき、生物多様性の保全に寄与し、地域の良好な景観形成や賑わい創出につながる緑の創出・育成を推進します。

(1) 街路樹による良好な景観の創出・育成

- 街路樹の再生
老木化した桜並木などの地域で愛されている並木の再生や、空いている植栽枠への補植など、街路樹による良好な景観づくりを進めます。
- 街路樹の良好な維持管理
駅周辺や各区の主要な路線など、多くの市民の目にふれ、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成します。

(2) シンボリックな緑の創出・育成

- 公有地化によるシンボリックな緑の創出・育成
多くの市民の目にふれる場所で、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保し、緑豊かな空間を創出することで、街の魅力や賑わいづくりにつなげます。
また、花畑や名所など、地域に親しまれている緑のオープンスペースが、所有者の不測の事態等により、存続が困難となった場合に用地を取得し、緑や花による地域のシンボリックな空間として保全します。
- 公開性のある緑空間の創出支援
多くの人が訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成します。

(3) 名木古木の保存

- 地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を、保存すべき樹木として指定します。
また、指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。

【実績及び今後見込み】 ※1款2項3目「まちなかでの緑の創出・育成事業」との合計

(1) 街路樹による良好な景観の創出・育成

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	中計目標値	3年度見込
街路樹の再生	-	-	-	-	2路線	2路線	6路線	2路線
街路樹の良好な維持管理	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進

(2) シンボリックな緑の創出・育成

○ 公有地化によるシンボリックな緑の創出・育成		27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	3年度見込
緑の創出(延べ)	-	-	1か所	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所
事業推進(延べ)	1か所	4か所	5か所	5か所	5か所	5か所	5か所	5か所
○ 公開性のある緑空間の創出支援		元年度見込	2年度見込	3年度見込				
緑化の助成(件)	2か所	推進	推進	推進				

(3) 名木古木の保存

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	3年度見込
新規指定(本)	17	9	33	32	推進	推進	推進
助成交付(本)	47	43	62	96	推進	推進	推進

【事業費の内訳】

	元年度	2年度	差引	説明
(1) 街路樹による良好な景観の創出・育成	582,000	582,000	0	
(2) シンボリックな緑の創出・育成	384,100	141,200	△ 242,900	
○ 公有地化によるシンボリックな緑の創出・育成	368,100	125,200	△ 242,900	用地取得完了による減
○ 公開性のある緑空間の創出支援	16,000	16,000	0	
(3) 名木古木の保存	14,800	14,800	0	
合計	980,900	738,000	△ 242,900	

【事業スケジュール】

- 街路樹による良好な景観の創出・育成：事業実施(通年)、対象路線選定(8月)、予算とりまとめ(9月)、実績報告(3月)
- シンボリックな緑の創出・育成
 - 公有地化によるシンボリックな緑の創出・育成：用地の取得(通年)、測量・設計(通年)、工事(通年)、予算とりまとめ(9月)、実績報告(3月)
 - 公開性のある緑空間の創出支援：受付(4~1月)
- 名木古木の保存：助成受付(通年)、新規指定受付(4~10月)、指定調整会議(12月)

【事業開始年度】

- 街路樹による良好な景観の創出・育成：平成21年度(いきいきとした街路樹づくり)
- シンボリックな緑の創出・育成
 - 公有地化によるシンボリックな緑の創出・育成：平成26年度
 - 公開性のある緑空間の創出支援：令和元年度
- 名木古木の保存：昭和46年度

【根拠法令】

- 道路法、道路構造令、横浜市街路樹要綱、横浜市街路樹管理基準
- シンボル：都市公園法、横浜市公園条例
緑空間の創出支援：横浜市公開性のある緑空間の創出支援事業要綱
- 横浜市名木古木保存事業要綱

【根拠とするデータ等】

横浜みどりアップ計画(計画期間：平成26-30年度) 5か年(平成26-30年度)の事業・取組の評価・検証(2019年6月)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	緑化推進担当 ほか
	坂井和洋	井上雅人 ほか	石井久美子 ほか

（様式②-1） 令和2年度事業計画書（局・統括本部）

〔環境創造局 みどりアップ推進課〕

事業名	
1 款 1 項 3 目	市民や企業と連携した緑のまちづくり事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
新規・拡充	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
9	3

令和元年度 事業評価書 番号	
令和元年度 事業評価書 番号	

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	基金繰入金	市債	一般財源
2年度	79,462	0		79,462		0
補助事業 単独事業		補助率 %				
元年度	79,357			79,357		0
増△減	105	0	0	105	0	0

歳出	28年度	29年度	30年度
予 事業費	-	-	193,667
算 市債+一般財源	-	-	0
決 事業費	-	-	175,962
算 市債+一般財源	-	-	0

歳出	3年度	4年度
予 事業費	79,462	79,462
算 市債+一般財源	0	0

方針に関する決裁 種別（）
有（ ）・無

【事業の概要及び2年度実施内容】

緑あふれる魅力的な街をつくるためには、市民や企業と連携した取組が不可欠です。地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する取組など、緑の創出・育成に積極的に取り組む市民や企業を支援し、市民の生活の身近な場所で、緑や花に親しむきっかけづくりを推進します。

また、第33回全国都市緑化よこはまフェアなど、これまで多くの市民や企業の協力で展開された各区での緑や花に親しむ取組を、引き続き推進します。

(1) 地域緑のまちづくり

「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の思いを実現するため、計画づくり、花や木の植栽、維持管理など、緑のまちづくりに協働で取り組みます。

ご近所同士や集合住宅の管理組合でも気軽に取り組める仕組みを継続しながら、地域での緑化整備や維持管理活動を支援します。

また、2019（令和元）年度までに地域緑化計画を策定した地区については、継続して支援を行います。

(2) 人生記念樹の配布

多くの市民の皆様が緑をつくり、育むきっかけとなるよう、出生や入学、住宅の新築や購入などの人生の節目の記念に、希望した市民に、苗木を無料で配布します。

【実績の推移・今後見込み】

(1) 地域緑のまちづくり

地域緑化推進事業実施地区	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	中計目標	3年度見込
第1期(H21-25)みどりアップ計画時の実施地区	新規	-	-	-	-	-	-	-
	継続	16	10	5	2	-	-	-
	累計	16	16	16	16	16	16	16
第2期(H26-30)みどりアップ計画の実施地区	新規	4	9	7	5	-	-	-
	継続	6	10	13	16	12	5	-
	累計	10	19	26	31	31	31	30
第3期(2019-2023)みどりアップ計画の実施地区	新規	-	-	-	-	6	6	6
	継続	-	-	-	-	-	6	12
	累計	-	-	-	-	6	12	18
継続、新規地区の取組地区数(累計)	26	35	42	47	53	59	48	65

(2) 人生記念樹の配布 ※1款2項3目「市民や企業と連携した緑のまちづくり事業」との合計

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	3年度見込
苗木の配布（本）	7,865	7,476	7,343	6,529	8,000	8,000	8,000

【事業費の内訳】

	元年度	2年度	差引	説明
(1) 地域緑のまちづくり	76,357	76,462	105	地域緑化計画書に基づく増
(2) 人生記念樹の配布	3,000	3,000	0	
合計	79,357	79,462	105	

【事業スケジュール】

(1) 地域緑のまちづくり

新規地区：公募(4~6月)、1次審査(7月)、2次審査(10月)、団体決定(11月)、協定準備期間(1~3月)、協定締結(3月)

継続地区：事業実施(通年)

(2) 人生記念樹の配布：受付(通年)、配布(6月、11月)

【事業開始年度】

(1) 地域緑のまちづくり：平成21年度

(2) 人生記念樹の配布：昭和52年度

【根拠法令】

(1) 地域緑のまちづくり：緑の環境をつくり育てる条例、横浜市地域緑のまちづくり事業要綱ほか

(2) 人生記念樹の配布：横浜市人生記念樹配布事業要綱

【根拠とするデータ等】

横浜みどりアップ計画(計画期間：平成26-30年度) 5か年(平成26-30年度)の事業・取組の評価・検証(2019年6月)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	緑化推進担当
	坂井和洋	井上雅人 ほか	加藤孝 ほか

(様式②-1) 令和2年度事業計画書 (局・統括本部)

[環境創造局 みどりアップ推進課]

事業名	
1 款 1 項 3 目	子どもを育む空間での緑の創出・育成事業

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
新規・拡充	

中期計画-38の政	
政策番号	主な施策番号

令和元年度 事業評価書 番号	
令和元年度 事業評価書 番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	基金繰入金		市債	一般財源
2年度	14,500	0		14,500			0
補助事業 単独事業		補助率 %					
元年度	14,500			14,500			0
増△減	0	0	0	0	0	0	0

歳出	28年度	29年度	30年度
予 事業費	16,300	16,300	14,400
算 市債+一般財源	0	0	0
決 事業費	10,514	3,904	3,205
算 市債+一般財源	0	0	0

歳出	3年度	4年度
予 事業費	14,500	14,500
算 市債+一般財源		

方針に関する決裁 種別()
有 () ・無

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

次世代を担う子どもたちが緑と親しみ、感性豊かに成長できるよう、子どもが多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、小中学校を対象に、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。緑の創出にあたっては、子どもたちと生き物とのふれあいが生まれるような空間づくりに取り組みます。

(1) 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

(このうち、1項では民間施設への助成事業を、2項では公立施設における緑化事業を実施します。)

○緑の創出

子どもを育む空間である保育園、幼稚園、小中学校において、園庭・校庭の芝生化や生き物とふれあい学べるビオトープの整備、花壇づくり、屋上や壁面の緑化など、多様な緑を創出する取組を推進します。

○緑の育成

創出した緑(園庭・校庭の芝生等)を良好に維持するとともに、多様な緑化を一層推進するため、維持管理費用の一部を助成します。また、芝生やビオトープ、花育等緑化に関する技術支援を行います。

【実績及び今後見込み】 ※1款2項3目「子どもを育む空間での緑の創出・育成事業」との合計

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	3年度見込
民間保育所・小中学校等 緑化助成事業(件)	9	11	10	4	10	10	10
市立保育所・小中学校等 緑化事業(件)	23	25	10	33	10	10	10
緑の創出(か所)	32	36	20	37	20	20	20

【事業費の内訳】

	元年度	2年度	差引	説明
緑の創出	10,000	10,000	0	10か所
緑の育成	4,500	4,500	0	
合計	14,500	14,500	0	

【事業スケジュール】

○民間保育園・幼稚園・小中学校への助成：受付(通年)

【事業開始年度】

平成26年度

(平成21年度から実施している民有地緑化助成事業、公共施設緑化事業、公共施設緑化管理事業を一部統合して事業化)

【根拠法令】

緑の環境をつくり育てる条例、緑の環境をつくり育てる条例第4条の施行に関する基準

横浜市民間保育所・学校等緑化助成事業要綱

横浜市民間保育所・学校等緑地維持管理助成事業要綱

【根拠とするデータ等】

民間保育園・幼稚園・小中学校数：約1,100校

(平成30年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)統計表、横浜市子ども青少年局ヨコハマはびねすぽっと)

横浜みどりアップ計画(計画期間：平成26-30年度)5か年(平成26-30年度)の事業・取組の評価・検証(2019年6月)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	緑化推進担当
	坂井和洋	井上雅人	古市真美

(環境創造局)

(様式②-1) 令和2年度事業計画書 (局・統括本部)

[環境創造局 みどりアップ推進課]

事業名
1 款 1 項 3 目
緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
新規・拡充	

中期計画-38の政	
政策番号	主な施策番号
9	3

令和元年度 事業評価書 番号	
令和元年度 事業評価書 番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	基金繰入金	市債	一般財源
2年度	313,050	0		313,050		0
補助事業 単独事業		補助率	%			
元年度	364,050			364,050		0
増△減	△ 51,000	0	0	△ 51,000	0	0

歳出	28年度	29年度	30年度
予 事業費	744,200	258,200	297,700
算 市債+一般財源	0	0	0
決 事業費	483,427	250,725	264,873
算 市債+一般財源	0	0	0

歳出	3年度	4年度
予 事業費	313,050	313,050
算 市債+一般財源	0	0

方針に関する決裁 種別()
有 () ・ 無

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

第33回全国都市緑化よこはまフェアには、多くの人々が訪れ、緑や花が人を呼び込み、街の賑わいを創出しました。多くの市民が時間を過ごし、国内外から多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部などにおいて、これらの取組を継承し、公共空間を中心に緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力や回遊性の向上・賑わいづくりにつなげます。

りょくか

(1) 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

みなとみらい21地区などの都心臨海部や、第33回全国都市緑化よこはまフェアの開催により多くの人で賑わった里山ガーデン(よこはま動物園ズラシア隣接)など、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。また、こども自然公園などの都市公園において、桜などの花木による花の名所づくりを進めます。あわせて、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます。

【実績及び今後見込み】 ※1款2項3目「緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業」との合計

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	3年度見込
都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり	都心臨海部緑花(4か所)、緑花の維持管理(4か所)	都心臨海部緑花(12か所)、緑花の維持管理(8か所)	都心臨海部緑花(1か所)、緑花の維持管理(13か所)	都心臨海部緑花(1か所)、緑花の維持管理(9か所)	推進	推進	推進

【事業費の内訳】

	元年度	2年度	差引	説明
緑花による魅力・賑わいづくり	364,050	313,050	△ 51,000	整備箇所の減
合計	364,050	313,050	△ 51,000	

【事業スケジュール】

事業実施(通年)、予算とりまとめ(9月)、報告取りまとめ(3月)

【事業開始年度】

平成26年度

【根拠法令】

緑の環境をつくり育てる条例、緑の環境をつくり育てる条例第4条の施行に関する基準

【根拠とするデータ等】

横浜みどりアップ計画(計画期間:平成26-30年度) 5か年(平成26-30年度)の事業・取組の評価・検証(2019年6月)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	緑化推進担当
	坂井和洋	井上雅人	石井久美子

(環境創造局 一)